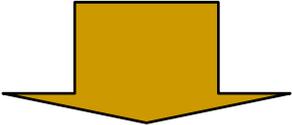
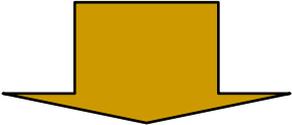

市民が進める

スローライフなまちづくり

林 博

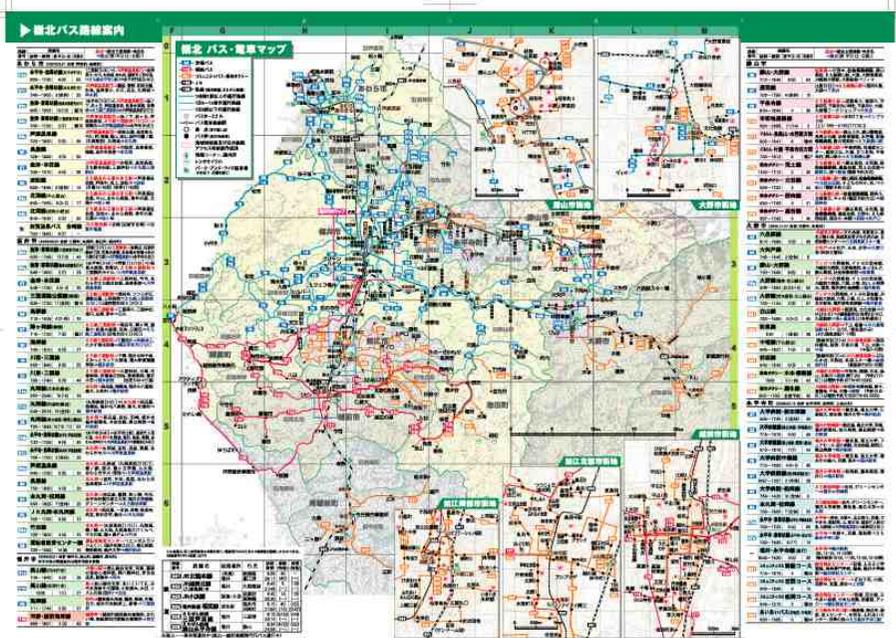
NPO法人ふくい路面電車とまちづくりの会理事
技術士(建設/総合技術監理部門)

- 行政が市民に呼びかけた官主導の市民参加のまちづくり
- 
- 市民自らが手がける市民主導のまちづくり
- 
- 市民主体でさらにまちづくりの技術も大きく変化
-

1. 利用者本位の公共交通 利用促進策(バス電車マップ)

- 利用者自らが、利用しやすいように作った
全てのバスと電車を載せたマップ
 - ・路線系統番号、時刻表、目的地となる各種施設も掲載
 - ・乗る前から降りた後までのトータルインフォメーション
- 各地域の交通事情を反映した情報の発信
 - ・路線が多すぎて収まりきらない広島
 - ・電車までトータルデザインをした岡山
 - ・時刻表に重点をおいてバスブックを作った松江
 - ・中心市街地にまとを絞ってマップを作った仙台
 - ・路線や便数が少なくても全県マップまでも作った福井

・ふくいのりのりマップ (ひっでえべんりなバス電車マップ)



全県マップ(県北部版)

ROBA認定 優良バス停

R:屋根、O:広い歩道、B:ベンチ、A:接近案内を3つ以上満たすもの

ROBA認定優良バス停(福井市役所)
R・O・B・Aのほかに、時計もあって便利です

ROBAバス停調査で気づいた快適なバス停に基準を設け、R・O・B・Aに当てはめて、優良バス停として認定しました。バス停前の民間施設が、屋根(軒先)やベンチを提供してくれて、使いやすくなったバス停を紹介します。

ROBA認定優良バス停
R:屋根、O:広い歩道、B:ベンチ
A:接近案内システム

・全国のバス電車マップ(広島)



2001年4月
先頭を切って「バスの超マップ」を
発行 : 現在第7版

同時に「バスの達人」の本も発行

多すぎてわかりにくい路線を識別し、
辿ってわかる路線図を作成

発行元の継承発展
広島LRT研究会 広島BRT研究会

・全国のバス電車マップ(岡山)



ぼっけえ便利なバスマップ(元祖)

(ひっでえ便利なバス電車マップ:福井)

(なまら便利なバスマップ:札幌)

方面別案内などをトータルデザイン
路線系統、方位表示

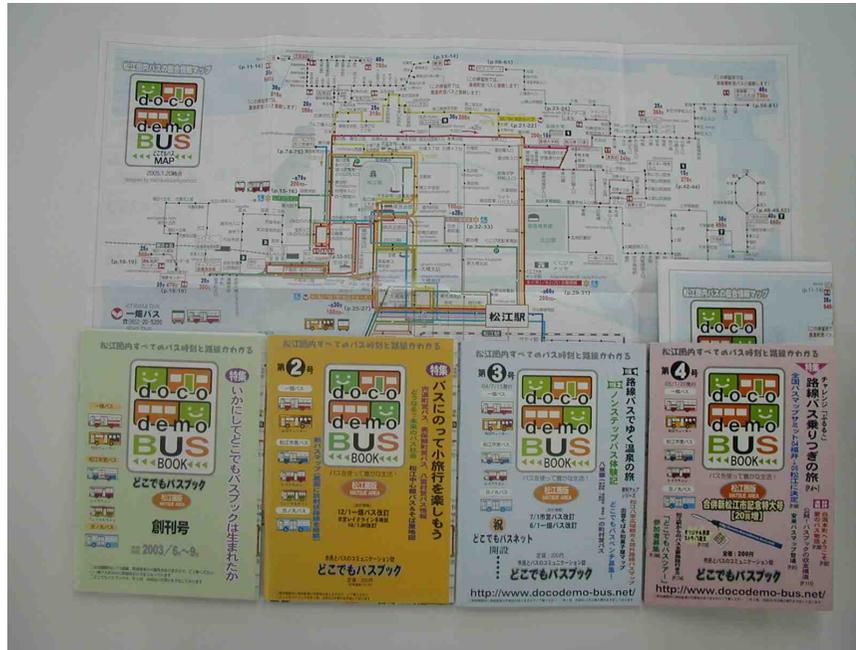
主要施設の記号化

大学、高校、P&R施設



中心市街地の立体地図化
まち歩きマップもかねて

・全国のバス電車マップ(松江)



少ない、路線・便数をカバーするため、時刻表をセットで提供

そのため、唯一、BOOK形式を採用

BOOK形式のメリットを活かし、

- ・年2度更新する費用を確保するため、唯一、広告を募集掲載
- ・利用者の感想などを掲載

交流の中で: 唯一採用していたデフォルトマップを縮尺マップに変更

応用:

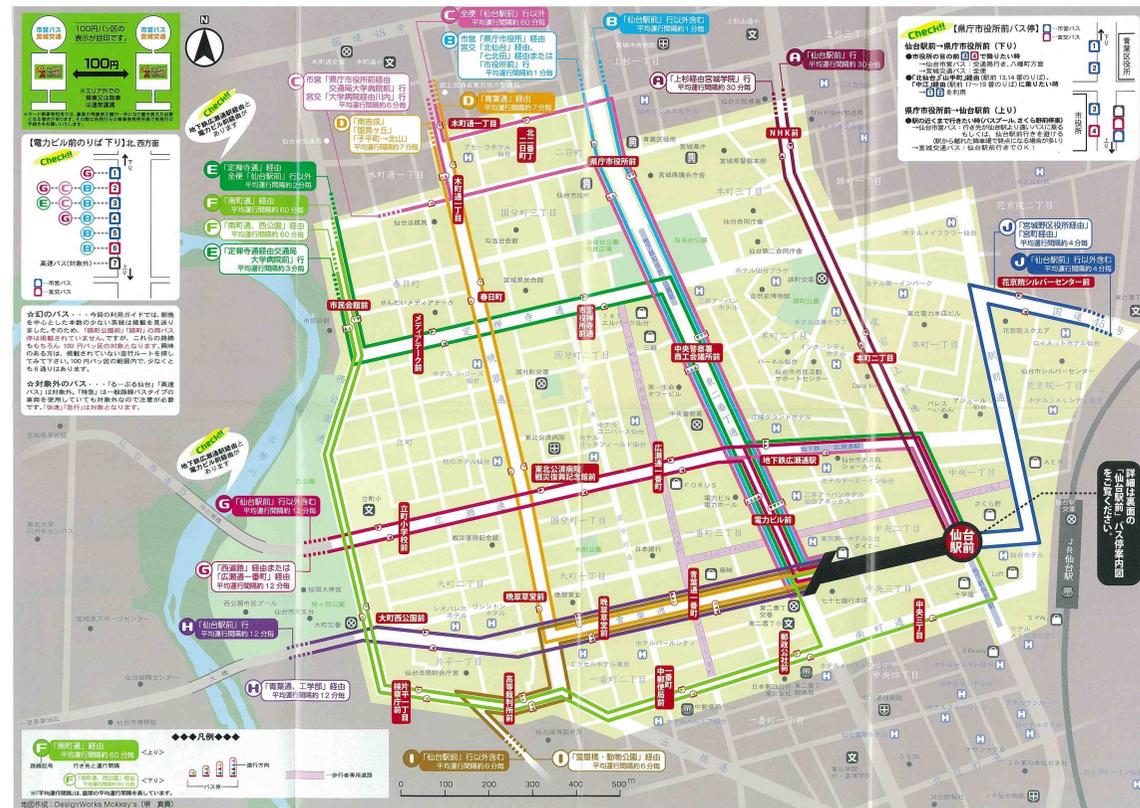
- ・蕎麦食べ歩きマップ
- ・観光ブック(モデルルート、時刻入り)

・全国のバス電車マップ(仙台)

100円パッ区区域をPRし、観光案内や、施設案内を兼ねたマップ

中心市街地の便利
なようで使いにくい、
分散したバス停などを施設と一緒に案内
している

印刷前にデザイン
チェックのWSを実施



1 - 1 バス電車マップの全国展開

- 市民が仕掛けて、市民ネットを使って
全国バスマップサミットを自主開催
2003年岡山で開催、その後福井、松江、仙台、広島とリレー開催
- 全国へノウハウの発信
当初4都市が相互に情報交換し、現在20数都市に拡大展開中
「利用者のためのマップの作り方」の出版について検討中
- 各地で行政がマップ作成支援に乗り出し
当初4都市は自費出版、その後自治体、国がマップ作成を支援中
(後発組は更新費用の確保が課題)

1 - 2 バス電車マップの 活躍領域の拡大

- モビリティマネジメントのツールとして
TFP調査のモーダルシフトの検討資料に採擧される
TFP=Travel Feedback Program(態度・行動変容)
 - 小中学校教育の社会活動の教材として
 - 転居者への公共交通等の案内資料として
 - 観光者への公共交通等の案内資料として
 - バリアフリー施設等の案内資料として
 - 自転車マップのベースとして(歩自路バマップ)
-

1 - 2 バス電車マップの 活躍領域の拡大

- モビリティマネジメントのツールとして
「かしこい車の使い方」 「転入者簡易TFP調査(福井市)」



第3回福井都市圏パーソントリップ調査

1 - 3 わかりやすく

新しい交通概念の提案

■ ホジロバ交通

歩自路バ: 歩行者・自転車・路面電車・バス

自動車以外の「環境にやさしい交通」を総称する概念を、わかりやすく定義して提案した(福井:ROBA)

■ 人生の30/80が交通弱者

(20+10)/80: 人生80年のうち30年、つまり人生の1/3は車の運転ができない交通弱者(岡山:RACDA)

そのために税金を使ってホジロバ交通の整備に投資することは容易に是認できることを、数字で示して理解を得た

2. 利用者意識にあわせた MM(モビリティ・マネージメント)の推進

■ 新交通環境家計簿：交通経費とCO2の家計簿

環境家計簿：交通分野では

- ・自動車の利用を前提とした対策では、エコドライブ、アイドリングストップ、まとめて用事を済ます、乗り合い利用などがある
- ・もっとも大きな効果があるのは「モーダルシフト」だということは、わかっているが、一向に進まない。

そのための有効な対策・工夫が必要

新交通環境家計簿 = 環境家計簿 + 交通費家計簿

地球環境家計簿的にCO2を減らしながら、自宅家計簿的に交通費の出費を減らしながら、モーダルシフトを進めるきっかけをつくる試み
それを親子で始めることから、実効性のあるものとして期待！！

2 - 1 新交通環境家計簿

	CO2排出削減量(g)	削減交通費用(円)
- の1週間合計	16,484g	13,258円
	テレビ 412時間削減	
- の1年間合計	857,168g	689,416円
	テレビ21,429時間削減	

自己評価; 普段車で通勤しているのですが、それを公共交通に切り替えることで60万もの金額の削減になるなんて驚きです。車を使わないだけで、1年間で60万貯めることができるなんて、どんな節約術よりも有効で健康にも地球にも優しい節約術だと思いました。 (注; 主婦は交通費に注目)

一家に3, 4台ある車を一台でも減らす動きを期待! (一世帯1.76台; 全国一)

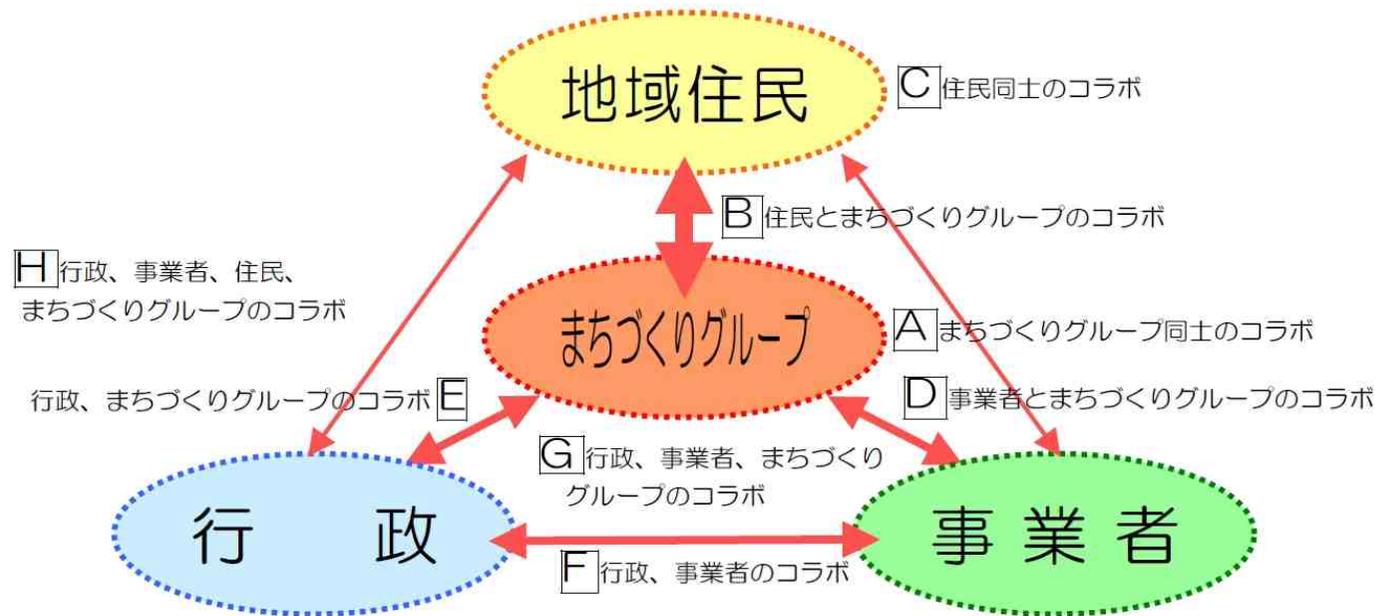
2 - 2 交通エコロジー教室での実践

- 「交通エコロジー教室」で**新**交通環境家計簿を親子で実践
 - エコライフ:日常生活での実践
 - エコレジャー:非日常活動での実践
- エコレジャーを電車バス乗車体験で支援
 - カーフリーデーと併せて電車バスの乗車体験
 - まちなかでのNPOイベント「このまちと~まれ! 2007」と連携
- TMOゲーム研究グループ
(日本技術士会中部支部青年技術士会)
の「交通ゲーム」も活躍



3 協働のまちづくりのしくみと 市民団体の役割

- A B C** : 利用者としての自らの意識改革、協働による「乗る」実践活動
D E : 行政や事業者との協働による「乗るしくみづくり」の実施
F G H : 行政、事業者、住民、NPOの協働による「まちづくり」や「公共投資」の実施



■協働のまちづくりのしくみのイメージ

3 - 2 市民団体活動タイプの研究へ

市民団体の活動は、

- ・協働のまちづくりに果たす役割
- ・活動タイプ別効果

などが、研究テーマとして取り上げられるようになってきている。

市民団体の役割は

- ・まちづくりへの提言
- ・協働まちづくりの支援

など、今後ますます重要かつ大きくなってきている。

